

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会 (地理的分野)
----	------------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
2 東書	地理 701	新しい社会 地理	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や写真が新しく、豊富で、グラフや図がカラフルで見やすく、生徒の興味を引く工夫がなされている。巻頭 P1,2 はとてもきれいにまとめられており、世界や自然への興味をかき立てる資料である。また、白く光らないため目に優しく、書き込みやすい紙質となっている。 ・「D マーク」や QR コードがあり、ICT を活用した学習ができるような工夫がなされている。 ・各章の初めにある「導入の活動」は、生徒の興味を引く内容になっており、各章の終わりにある「まとめの活動」は生徒の興味を引く活動であり、思考力・判断力・表現力を高めることができる。また、各ページ最後の「トライ」では言語活動の定着が図りやすくなっている。 ・第2編第2章は、各節の最初のページに各州の写真と地図、面積、人口、GDP を比較したグラフが載っておりわかりやすい。 ・P 26,27 の領土問題を抱える島々や P 48 の気候帯、P 180,181 の日本のエネルギーなどは、大変わかりやすくまとめられている。 ・第2編第1章は本文の中では地域を絞った内容になっているが、表題でも地域を絞った方がわかりやすい。 ・P 165⁵の資料は行政機関の役割などを学習していない段階では理解が難しく、支援活動が難解なものに認識されてしまいかねない。

<p>17 教出</p>	<p>地理 702</p>	<p>中学社会 地理 地域にまなぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や写真が新しく、豊富で、グラフや図がカラフルで見やすい。第3章の日本の諸地域各地方の最初のページの写真はいずれも各地方らしい写真が掲載されておりわかりやすい。 ・「学びリンク」で、ICT教育を活用した学習ができるよう工夫がなされている。 ・各章の終わりにある「学習のまとめと表現」はワーク形式で確認しやすい。また、本文見開き2ページは、最初に「学習課題」が示され、最後に「確認」「表現」で学習内容の定着が確認できるような工夫がなされている。 ・第2編第1章では、世界の人々の生活を学習する前に気候帯を取り扱っており、生徒にとってわかりやすい順番となっている。 ・P57の電子決済の内容やP10の「キャッサバからタピオカへ」などは生徒の興味・関心を引く教材である。 ・P86の子どもの労働についての記載は、国際的な課題に着目する機会としてよい。 ・個人で学びを深める内容が多く、各章末には言語活動の定着につながる問いもあるものの、全体を通して言語活動の充実を図ることが難しい。 ・P11の三大洋と六大陸の関係やP17の「人口を面積に置き換えて示した世界地図」はわかりにくく感じるため工夫が必要である。 ・P24,25の日本の領土についての説明やP96のアグリビジネス・穀物メジャーの説明などがやや少なく、また、P30,31に各気候の雨温図がないので生徒が理解しにくい。 ・P51のアジア州の地域区分で、注釈はあるもののシベリアが含まれていない。 ・巻末の主な家畜に、リヤマとアルパカが含まれていない。
------------------	---------------	---------------------------	--

<p style="text-align: center;">46 帝 国</p>	<p style="text-align: center;">地理 703</p>	<p style="text-align: center;">社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考力・判断力・表現力」を育成するためには どういうアプローチをすればよいかということが、 はっきりとわかる節の学習の振り返りにな っている。 ・各地方を大観したイラストなどを使用したり、 写真によって地域の人々の生活がわかりやす くなっていたりするなどの工夫がなされている。 ・ふりがなが多くふってあり、漢字が苦手な生徒 でも読むことができる。 ・資料や写真が豊富で充実しており、グラフや図 がカラフルで見やすく、生徒の関心を引くもの が多い。 ・各章（節）の終わりにある「章（節）の学習を 振り返ろう」は①のワーク形式問題で知識の定 着を図り、②で思考力・判断力・表現力を身に つけることができる。 ・本文見開き2ページは、最初に「学習課題」が 示され、最後に「確認しよう」「説明しよう」で まとめられ、言語活動に活用できる。 ・「未来に向けて」のコラムが充実している。ま た、「声」のコーナーは面白く、生徒の興味・関 心を高めると思われる。 ・巻頭1・2にSDGsが取り上げられており、自 然環境への関心を高める工夫がなされている。 ・P89のモノカルチャー経済の資料としてカカオ の価格についての資料があり、わかりやすい。 ・掲載されている雨温図はいずれも濃く印字され ており見やすい。 ・第3章「日本の諸地域」の各地方最初のページ のイラスト地図はとてもきれいで見やすく生徒 の興味関心を引き出せる。 ・P99のヒスパニックの説明、P101の穀物メジャ ーの例などは、もう少し詳しい内容がある方が 生徒は理解しやすい。 ・P6, 175野球が取り上げられすぎており、多様 なスポーツへの理解にかける。 ・P17世界の等時帯の図が複雑になっており、難 しそうな印象を受ける。 ・巻末に世界の国や都道府県の統計資料がついて いない。
---	---	--	--

<p>116 目 文</p>	<p>地理 704</p>	<p>中学社会 地理的分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文見開き2ページは、「学習課題」の下に「見方・考え方」が示されているだけでなく「深めよう」の問いも設定されている。また、「アクティビティ」を使い、主体的な学習場面を作ることができる。 ・歴史や小学校の学習とのつながりが、問いのような形で書かれていてわかりやすい。 ・「チャレンジ地理」は発展的な内容であるが、イラストや資料で取りかかりやすい工夫がされている。 ・QRコードがありICT教育を活用した学習ができる。 ・巻末の振り返りで対話的な学習の方法について取り上げている。 ・全体を通して写真が鮮明でないなど、資料の力が弱い。また、地図や雨温図も見にくく、プリントやテストに利用しにくい。 ・知識の修得のため、ワークを設けている。 ・P5表の矢印が交差していてわかりにくい。 ・P26, 27に雨温図がない。 ・P47の稲作畑作では雨温図や地図での説明がなくイメージしにくい。 ・P17の沖ノ鳥島の写真が古い。 ・P87の穀物メジャーやP89のNAFTAなどの語句の詳しい説明や資料が必要である。
--------------------	---------------	-------------------	--